加賀市糖尿病協議会の取り組み

加賀市糖尿病協議会　会長　松下重人

地域の概要

- 人口　71,540人（H25.10.1現在）
- 高齢化率　29．4％
- 病院数：7ヵ所、診療所数：52ヵ所
- 合併症対応医療機関：1ヵ所
  （加賀市民病院）
- 専門医療機関：2ヵ所
  （加賀市民病院、板谷医院）
- 安定期を担う医療機関：12ヵ所
  （病院3ヵ所、診療所9ヵ所）

石川県

取り組み課題

昨年度から、関係者（加賀市民病院、医師会、薬剤師会、加賀市、保健所）が話し合い、研修会等を開催しながら検討を重ねてきた。

【課題】

1. 病院との連携が特定の診療所に限られている
2. 病院を紹介しても「入院」となると受診しない
3. 診療所では療養指導する人材・時間がない
4. 市国保の特定健診受診率が低く、高血糖の方が医療へ結びついていない

事業内容

1. 病診連携
2. 歯科医との連携に向けた取り組み
3. コメディカル向け研修会の開催
4. 薬局と連携した受診勧奨モデル事業（11月～3月）

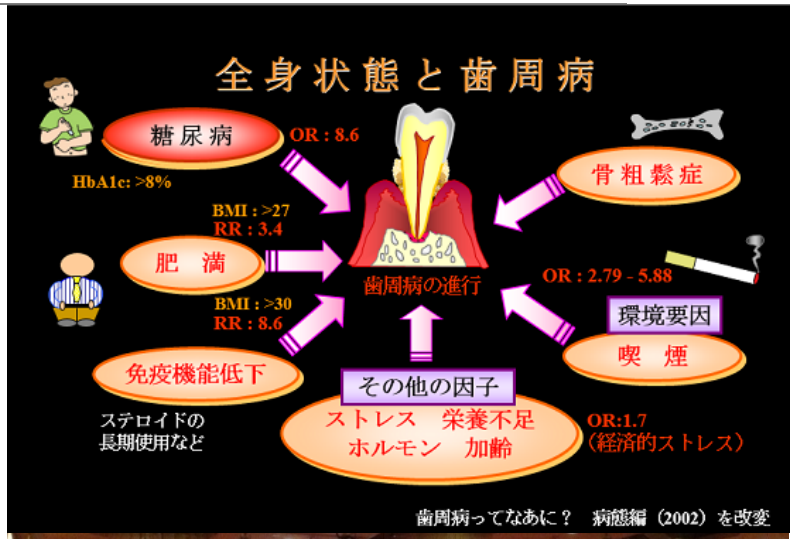
病診連携

- ✓糖尿病手帳を利用した診療連携
- ✓合併症対応医療機関で提供している診療内容の見直し
  （CGMの導入、教室の見直し　など）
- ✓症例検討会（3回）を開催し、合併症対応医療機関の診療内容の紹介
- ✓医師向け広報用媒体の作成と医師会での周知

歯科医との連携に向けて

血糖コントロール改善ため、歯科医との連携策を模索。

- 演題：糖尿病と歯周病の相互作用
- 講師：神戸常盤大学短期大学部
  口腔保健学科　野村慶雄 教授
- 日時：平成25年10月25日
  19:00～20:30
- 対象：医師、歯科医師、
  医療従事者　等
- 参加人数：40名



コメディカル向け研修会

診療の合間、数分で出来る療養指導を提案

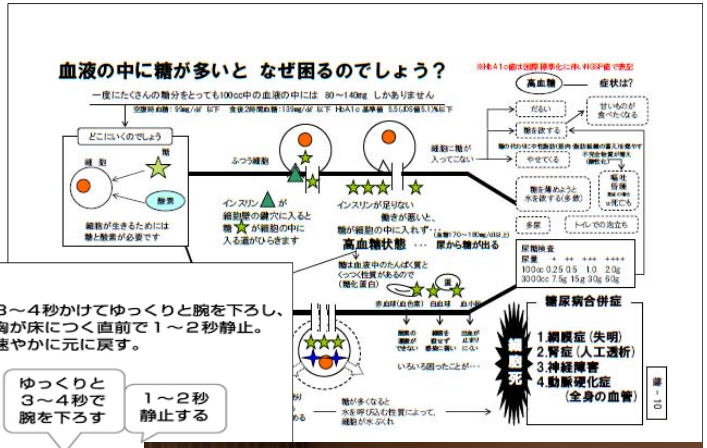
（11月～2月・3回シリーズ）

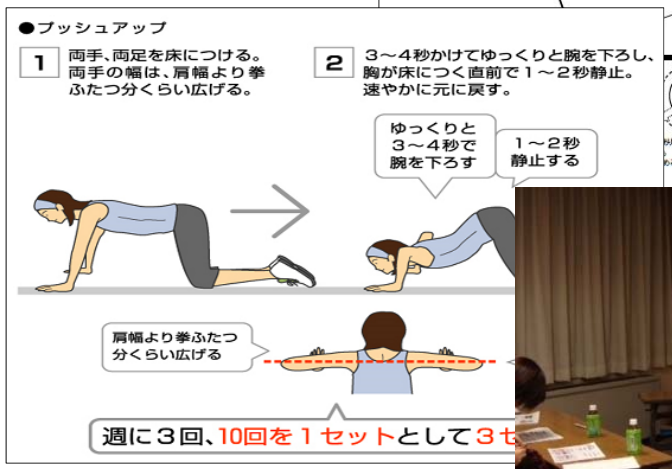
① 運動療法、フットケア編

② 栄養療法編

③ 薬物療法編

（延べ51名参加）





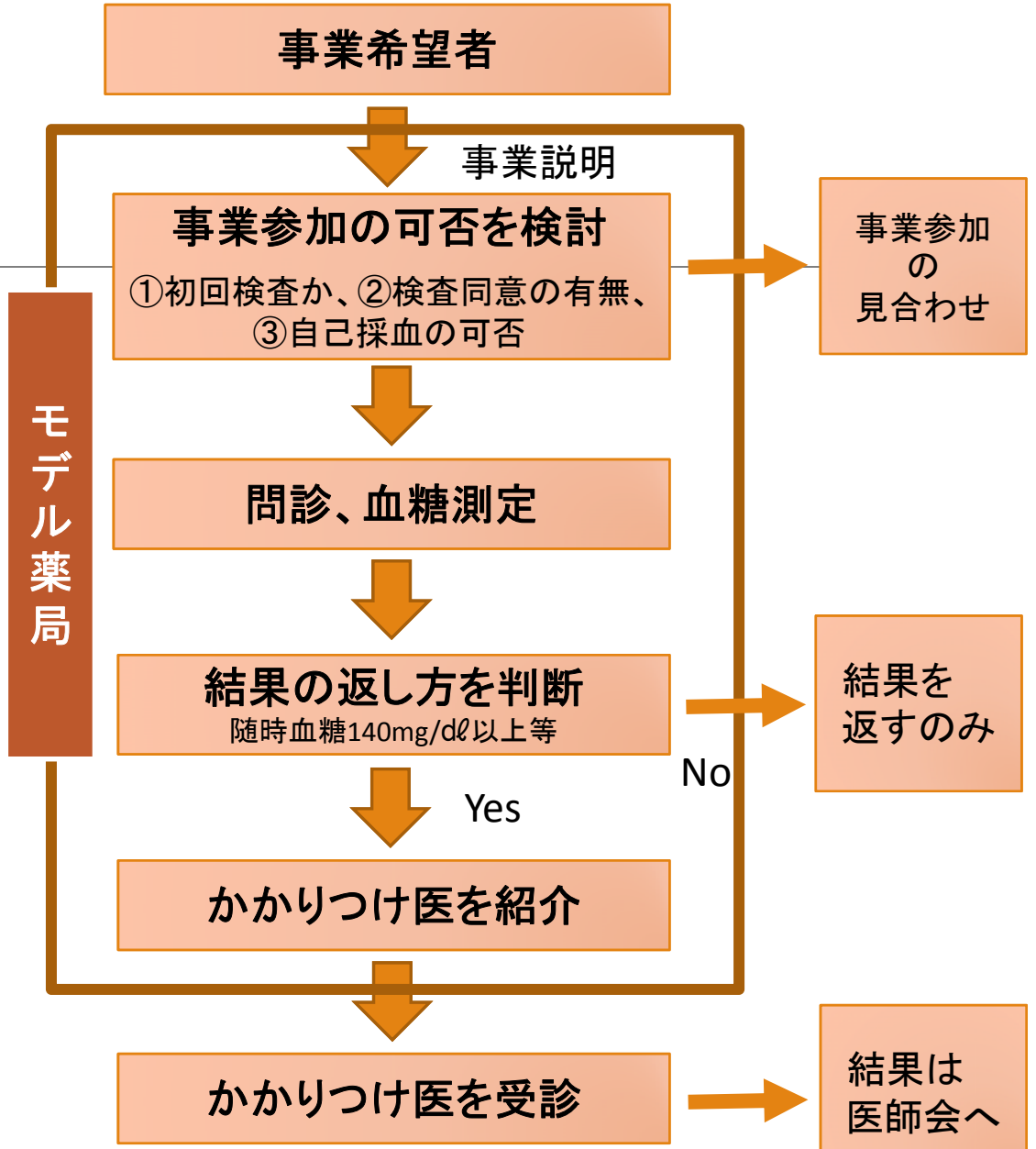
薬局と連携した受診勧奨モデル事業

- 目的:
  健診や医療機関へアクセスしていない高血糖の住民を医療に結びつける。
- 対象者:加賀市住民
- モデル薬局:2ヶ所
- 広報等協力:加賀市

事業イメージと途中経過

現在も事業継続中

事業参加者
（2月末日現在）
42　名
内、受診勧奨者
2　名



事例1

広報をみて検査を希望される。

健診受診歴なし。空腹時血糖で340mg/dℓであったため、すぐに専門医療機関受診を促す。

その日のうちに専門医療機関受診し、HbA1c 9.4%、糖尿病と診断される。

今後の取り組みについて

1. 病診連携は、参加診療所を増やす（かもまるネットワーク）
2. 症例検討会は継続する
3. 診療所のコメディカルの療養指導技術を高める策は継続する
4. 歯科医への紹介対象等の検討
5. 薬局と連携したモデル事業は、結果を検証して継続するか判断する